

西区東久保・藤棚地区における 地域貢献送迎バス (許可又は登録を要しない運送)について

横浜市 都市整備局 地域交通推進課

・背景

西区東久保・藤棚地区において平成31年4月から運行している地域貢献送迎バス「おでかけ3」について、運行者である「ガッツ・ビーと西」から「横浜市みんなのおでかけ交通事業」による支援を希望する声上がる。



令和8年度からの「横浜市みんなのおでかけ交通事業」による支援開始に向け、「横浜市地域公共交通導入支援補助金の交付等に関する要綱」に基づき、地域公共交通会議に報告する。

地区の概況① 位置・人口等



・相鉄線西横浜駅から0.8kmの西区南部に位置する団地エリア（県営藤棚住宅）

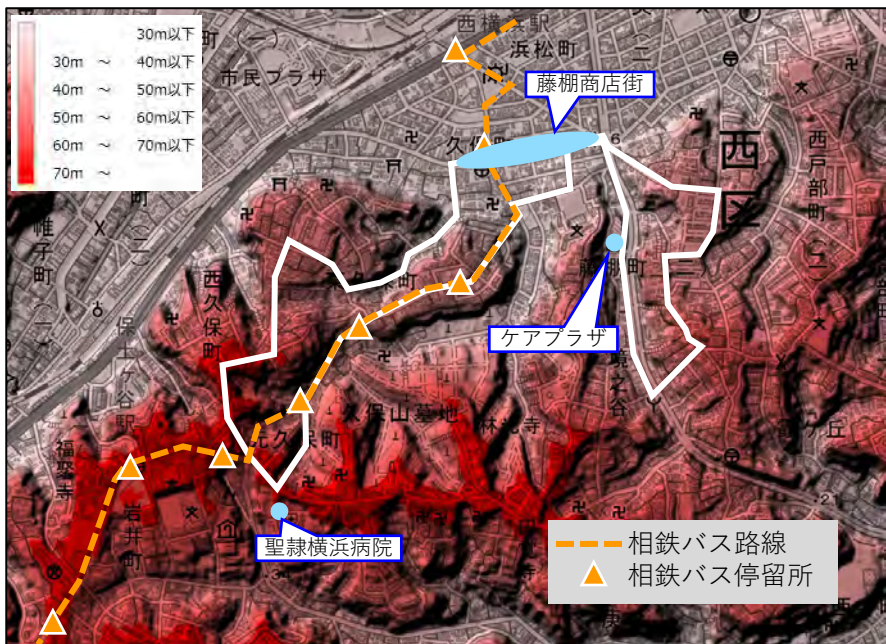
対象エリア	東久保・藤棚地区
面積	0.57km ²
人口	9,081人
人口密度	15,931人/km ²
世帯数	4,799世帯
高齢化率	25.9%

・高齢化率（65歳以上）は**25.9%**で区内では高い

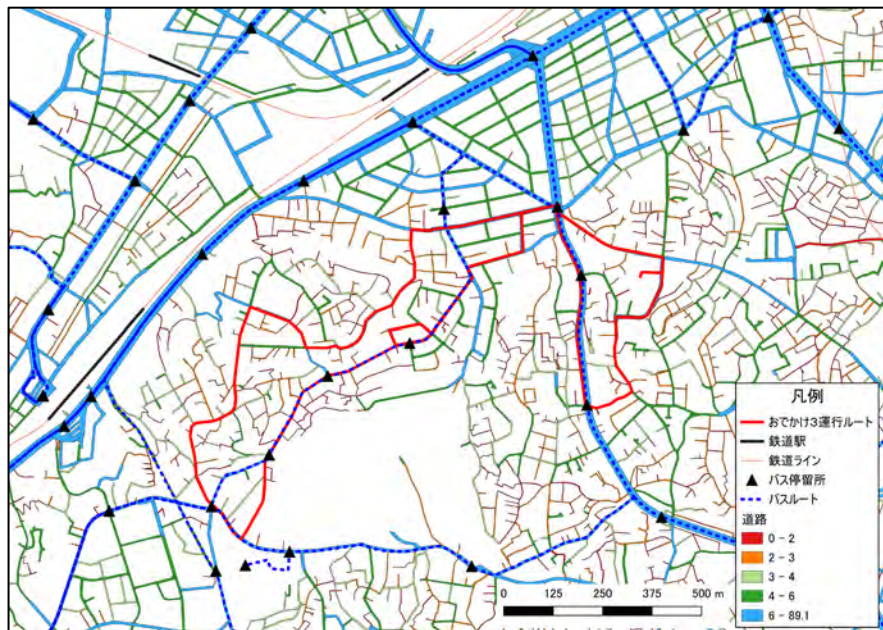
【参考】市：25.1% 西区：19.0%

（令和7年横浜市統計情報より）

地区の概況② 標高・道路幅員

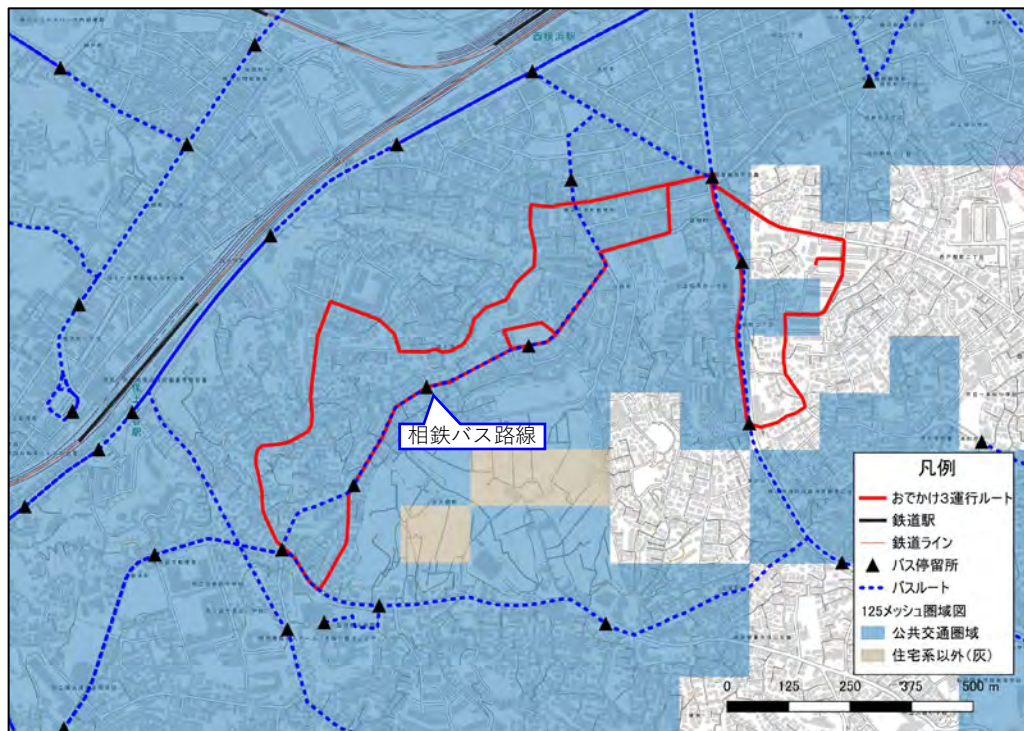


・エリア内に藤棚商店街、地域ケアプラザ、聖隷横浜病院等の施設があるが、**起伏が多く、高齢者の移動が困難**



・対象エリアの道路幅員は一部を除き**4～6m以上**あり、車両の通行はしやすい。

地区の概況③ バス路線状況と300m圏域・公共交通圏域



・ エリア内を横断する道路を相鉄バスが運行

・ 対象エリアは、一部公共交通圏域外が含まれている。

【参考】 日中・夕方：1便／h（朝の運行無）

取組の背景と経緯

地域内に坂や階段が多いなどの地形的な理由から、買い物が困難とされていた地区。
こうした状況を踏まえ、地域の方の外出を支援し、人と人、人とまちをつなぐことで地域を活性化するため、地域住民と「藤棚地域ケアプラザ」が「おでかけ3 実行委員会」を立ち上げ、西区内の障害福祉サービス事業所である「生活創造空間にし」が保有する車両の空き時間を活用した移動支援バスの運行を開始。

- H28年度～ 藤棚地域ケアプラザが第3地区連合町内会の高齢者を対象に「日常生活に関するアンケート調査」やヒアリングを行った結果、回答者の7割が買い物・移動に困っているという結果を得られた。
- H29年度～ 生活創造空間にしの送迎車両の空いている時間に車両の提供を行うことで支援の方向性を検討。
- H30.9～ 「おでかけ3」 試行運転
- H31.4～ 「おでかけ3」 本格運行開始（西区社会福祉協議会のふれあい助成金活用）
- R8.4～ 「横浜市みんなのおでかけ交通事業」の補助制度を活用した運行を実施（予定）

運行概要

運行形態	地域貢献送迎バス（おでかけ3） 【許可又は登録を要しない運送】
運行区間	東久保・藤棚地区※次項運行ルート参照
運行期間	令和8年4月から（予定） （平成31年4月から地域による自主運行）
運行者	ガッツ・ビーと西（社会福祉法人 横浜共生会）
運行車両	ワゴン車1台 車両定員9名（乗客定員7名）
運転手及び添乗員	運転手：ガッツ・ビーと西 職員 添乗員：ボランティア 各1名
運行日時	毎週 水・金曜日 午前10時から午後3時まで
運行頻度	4便/日
利用者負担	30円（参加費（燃料費相当））
利用実績	約200人／月（1便あたり5～6人）

運行ルート（時刻表）



横浜市



停留所	午前①	午前②	午後①	午後②
県営藤棚アパート自治会館前	10:20	11:10	13:00	13:50
岡崎邸前	10:23	11:13	13:03	13:53
藤棚地域ケアプラザ	10:27	11:17	13:07	13:57
わいわい広場（藤棚商店街）	10:35	11:25	13:15	14:05
東久保町会館前	10:40	11:30	13:20	14:10
トキワ坂上	10:42	11:32	13:22	14:12
聖隷横浜病院前	10:50	11:40	13:30	14:20
元久保町会館前	10:53	11:43	13:33	14:23
池ノ上公園北口	10:57	11:47	13:37	14:27
わいわい広場（藤棚商店街）	11:04	11:54	13:44	14:34
県営藤棚アパート自治会館前	11:10	利用者 いゆば	13:50	利用者 いゆば
生活創造空間にし	—	到着	—	到着

これまでの取組(おでかけ3運行) による効果

課題

坂や階段が多いなどの地形的な理由から、買い物・おでかけが困難な地域がある

取組

効果

- ・ **高齢者の外出機会の増加**につながっている。
- ・ 添乗員を含め高齢者にとって、**心身の活力向上を促す機会**となっている。
- ・ 添乗員や利用者同士の**交流が生まれ、コミュニケーションの促進**につながっている。
- ・ 常連の利用者が不在の場合には、添乗員や他の利用者がその方の様子を気にかけるなど、「**高齢者の見守り**」につながっている。

⇒ 今後は「横浜市みんなのおでかけ交通事業」を活用した継続的な支援を行っていくことで、地域貢献送迎バスの持続的な運営に寄与する

今後のスケジュール

令和 7 年	令和 8 年
自主運行	▼3/25 地域公共交通会議 ▼4 月 「みんなのおでかけ交通事業」 を活用した本格運行